

目 次

第 I 編 統計と統計制度

§1 統計とは何か	
1.1 統計と統計調査	6
1.2 統計調査の必要性	6
1.3 統計調査の種類	7
§2 厚生統計の沿革と役割	
2.1 厚生統計の沿革と役割	8
2.2 厚生統計の調査体系	11
2.3 厚生統計の役割	11
2.4 厚生統計の改善の方向	12
2.1.1 人口動態統計	8
2.1.2 保健統計	8
2.1.3 社会福祉統計	10
§3 統計制度	
3.1 統計制度の概要	16
3.2 統計関係法規	20
3.3 統計調査員	51
3.2.1 日本の統計制度の変遷	16
3.2.2 統計法の概要	20
3.2.3 地方公共団体と統計法規	48
3.2.4 統計調査と情報公開	49
3.3.1 統計法令と統計調査員	51
3.3.2 統計調査員の身分と任命	51
3.3.3 統計調査員と政治活動	52
3.3.4 統計調査員手当の支給と課税	54
3.3.5 公務災害補償	56
3.1.1 地方統計機構	17
3.1.2 厚生統計の組織	18
3.1.3 統計組織の概要	16
3.2.1 統計調査の統計法規による区分	20
3.2.2 統計法の概要	20

第 II 編 記述統計と推測統計の基礎および標本設計

§1 記述統計の基礎	
1.1 度数分布	58
1.2 分布の代表値	61
1.3 相関と回帰	67
1.2.1 位置の代表値	62
1.2.2 広がりの代表値	63
1.2.3 代表値の計算方法	64
1.2.4 標準偏差の性質	65
1.2.5 正規分布	66
1.3.1 2次元度数分布表	67
1.3.2 相関関	68
1.3.3 相関係数	69
1.3.4 順位相関係数	70
1.3.5 直線への近似・最小2乗法	72
1.3.6 回帰分析の例	73
1.3.7 回帰分析による将来の見込み	75
1.1.1 度数分布表	58
1.1.2 累積度数分布表	59
1.1.3 相対度数分布表	60
2.1 推定と中心極限定理	77
2.2 区間推定	77
2.3 仮説検定の考え方	78
2.4 仮説検定の实例	79
2.4.1 χ^2 分布を用いた検定	80
2.4.2 正規母集団に関する検定	84
§2 推定と検定	
§3 標本設計	
3.1 標本調査	87
3.2 標本抽出法	89
3.3 推定方法と標本数の見積もり	93
3.1.1 標本調査とは	87
3.1.2 有意抽出と無作為抽出	87
3.1.3 標本誤差と非標本誤差	88
3.2.1 単純無作為抽出法	90
3.2.2 系統抽出法	90
3.2.3 集落抽出法	91
3.2.4 多段抽出法	91
3.2.5 層化抽出法	92
3.3.1 平均値の推定	93

3.3.2 総数の推定	95	3.3.5 誤差の推定	97
3.3.3 比率の推定	96	3.3.6 標本数の見積もり	97
3.3.4 比推定	97		

第Ⅲ編 統計調査の実際

§1 統計調査の企画から公表

1.1 調査の企画	100	1.3 調査票の受付・入力	112
1.1.1 調査企画の概要	100	1.3.1 調査票の受理と検査	112
1.1.2 調査の実施手順	100	1.3.2 調査票の整理	113
1.1.3 調査目的の明確化	100	1.3.3 受付作業の委託	113
1.1.4 制約条件の明確化	100	1.3.4 データ入力	113
1.1.5 調査対象	101	1.4 データ処理	115
1.1.6 調査客体	102	1.4.1 データの編集	115
1.1.7 調査の時期	102	1.4.2 データチェック	117
1.1.8 調査事項の決定	103	1.4.3 自動修正	118
1.1.9 経費	103	1.4.4 コーディング	119
1.1.10 調査票の設計	104	1.4.5 集計要領と集計様式の作成	119
1.1.11 調査要綱の作成	106	1.5 分析	121
1.1.12 統計表様式的设计	107	1.5.1 比率	122
1.1.13 日程表の作成	108	1.5.2 時系列観察	122
1.1.14 一般統計調査に係る承認申請等の手続き	108	1.5.3 地域分析	123
1.2 調査の実施	110	1.6 公表とデータ保存	123
1.2.1 調査の型	110	1.6.1 結果の公表	123
1.2.2 実査法	110	1.6.2 データの保存と提供	124

§2 実例統計調査

2.1 企画から公表まで	125	2.2 調査の概要	127
--------------	-----	-----------	-----

§3 統計表と統計グラフ

3.1 統計表の作成	130	3.2 統計グラフ	139
3.1.1 統計表とは	130	3.2.1 統計グラフのあり方	139
3.1.2 統計表の設計	130	3.2.2 グラフの描き方	139
3.1.3 統計表の作成	131	3.2.3 色とハッチング	158

第Ⅳ編 厚生統計の基礎知識

§1 厚生統計に用いる主な用語の解説

1.1 人口	162	1.4.5 地域密着型介護予防サービス事業所	165
1.2 人口動態	162	1.5 社会福祉施設	165
1.3 保健・医療	163	1.6 世帯および世帯員等	167
1.3.1 医療施設の種類	163	1.6.1 世帯	167
1.3.2 病院の種類	164	1.6.2 世帯主	167
1.3.3 病床の種類	164	1.6.3 世帯員	167
1.4 介護保険施設, 居宅サービス事業所	164	1.6.4 世帯構造	167
1.4.1 介護保険施設	164	1.6.5 世帯業態	167
1.4.2 居宅サービス事業所	165	1.6.6 世帯類型	168
1.4.3 介護予防サービス事業所	165	1.6.7 世帯種	168
1.4.4 地域密着型サービス事業所	165	1.6.8 仕事の有無	168

1.6.9 勤めか自営かの別	169	1.7.3 基礎的所得の種類	170
1.6.10 勤め先での呼称	169	1.7.4 課税の状況	171
1.7 所得等	170	1.7.5 貯蓄	171
1.7.1 所得の種類	170	1.7.6 借入金	171
1.7.2 所得五分位階級	170		

§2 厚生統計に用いる主な比率の解説

2.1 人口構造	172	2.4 傷病等	178
2.2 人口動態	172	2.5 社会福祉	179
2.3 医療施設・医療従事者	177		

§3 生命表

3.1 生命表とは	180	3.3 生命表計算の概要	183
3.2 生命関数の定義	181	3.4 チャン(C.L.Chiang)の方法	184

第V編 統計調査の最適化と電子化

§1 統計情報の最適化の取り組み

1.1 統計調査等業務の業務・システム最適化計画	200	サブシステム機能の概要	201
1.1.1 最適化計画を実現する取り組み	200	1.2 政府統計の総合窓口(e-Stat)	202
1.1.2 政府統計共同利用システムの概要	201	1.2.1 e-Statの概要と提供コンテンツ	203
1.1.3 政府統計共同利用システムの各種		1.2.2 e-Statが備える機能	203

§2 統計調査の電子化

2.1 統計調査の実査の電子化	206	2.2.1 人口動態調査オンライン報告システム	212
2.1.1 統計調査の電子化の整備・動向	206	2.2.2 保健統計関係調査におけるオンライン報告	214
2.1.2 統計調査の電子化の効果	208	2.2.3 福祉行政報告例におけるオンライン報告	214
2.1.3 政府統計共同利用システムのオンライン調査システムの概要	208		
2.2 厚生統計におけるオンライン報告	212		

§3 インターネットによる統計データの提供と活用

3.1 統計調査結果の提供	216	3.3.1 統計関連サイト	219
3.2 厚生労働省ホームページにおける統計情報の提供	216	3.3.2 外国の統計機関サイト	220
3.3 外国の統計データの活用	219	3.3.3 保健・福祉関係サイト等のインターネット検索	220

第VI編 資料集

§1 厚生統計調査一覧

1.1 厚生統計調査一覧	222	1.2 主な厚生統計調査の概要	224
--------------	-----	-----------------	-----

§2 統計制度関連

2.1 統計法規	227	る事務処理要領	264
2.1.1 統計法	227	2.1.5 基幹統計調査及び一般統計調査に係る承認申請等の手続に関する厚生労働省事務処理の手引き	280
2.1.2 統計法施行令	239	2.1.6 地方公共団体又は独立行政法人等が行う統計調査に係る届出の手続	
2.1.3 統計法施行規則	259		
2.1.4 基幹統計調査及び一般統計調査に係る承認申請等の手続に関する			

等に関する事務処理要領 ……………	286	書の公開に関するガイドライン について……………	388
2.1.7 統計調査以外の方法により作成さ れる基幹統計に係る通知の手続等 に関する事務処理要領 ……………	295	2.1.13 統計調査員の量・質の確保・ 向上に関するガイドライン…………	393
2.1.8 統計法第33条の運用に関する ガイドライン ……………	302	2.1.14 統計調査の民間委託に係る ガイドライン……………	412
2.1.9 委託による統計の作成等に係る ガイドライン ……………	320	2.2 統計調査員の身分と補償 ……………	420
2.1.10 匿名データの作成・提供に係る ガイドライン……………	348	2.2.1 国家公務員である統計調査員 の身分の取扱いについて ……………	420
2.1.11 調査票情報等の管理に関する ガイドライン……………	384	2.2.2 地方公務員法第3条第3項第3号の 解釈について ……………	420
2.1.12 行政機関の保有する統計関係文 書の公開に関するガイドライン について……………	384	2.2.3 統計調査員公務災害補償費 交付要綱 ……………	421
§3 公的統計の整備に関する基本的な計画 ……………	423		
§4 統計基準等			
4.1 統計基準 ……………	458	4.4.2 疾病分類表と死因分類表 ……………	461
4.2 その他の技術的な基準 ……………	458	4.4.3 人口動態統計において使用す る分類表 ……………	461
4.3 統計に用いる標準地域コード ……………	458	4.5 日本標準産業分類 ……………	468
4.4 疾病、傷害及び死因分類(ICD-10) ……	459	4.6 日本標準職業分類 ……………	473
4.4.1 基本分類表 ……………	459		
§5 死亡診断書等と死因コーディング			
5.1 死亡診断書、出生証明書及び 死産証書 ……………	477	人口動態統計 ……………	480
5.1.1 死亡診断書と人口動態統計 ……	477	5.1.3 死亡診断書、出生証明書、死産 証書から死因統計の作成まで ……	484
5.1.2 出生証明書及び死産証書と 人口動態統計 ……………	477	5.2 死因コーディング ……………	485
§6 国際生活機能分類			
6.1 国際生活機能分類(ICF) ……………	489	6.4.1 ICFにおける構成要素 ……………	490
6.2 ICFの構成要素間の相互作用 ……………	489	6.4.2 ICFの評価を用いるときの 基本的考え方 ……………	490
6.3 ICFの活用 ……………	490	6.4.3 ICFにおける第1レベルの分類 ……	490
6.4 ICFの構造 ……………	490		
§7 基本的確率分布			
7.1 正規分布の上側確率 ……………	492	7.4 t分布のパーセント点……………	496
7.2 正規分布のパーセント点 ……………	493	7.5 乱数表 ……………	497
7.3 χ^2 分布のパーセント点……………	494		
付 録			
市販ソフトウェアを活用した統計データ処理……………	498		
索 引 ……………	507		

●Microsoft, Windowsは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

●その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

▶正誤表について

本誌の正誤表を当協会ホームページ (<http://www.hws-kyokai.or.jp/>) の『正誤情報』に掲載しております。